

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年7月8日～2017年7月14日の推移】

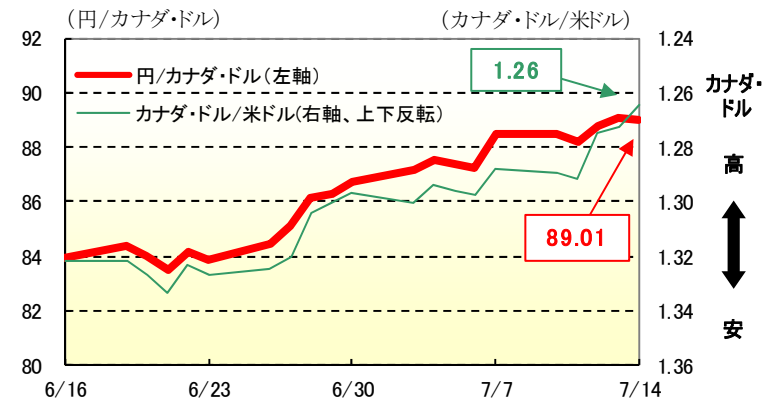
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円およびカナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、カナダ銀行(中央銀行)が政策金利(翌日物金利の誘導目標)を0.25%ポイント引き上げて0.75%としたことなどを背景に、カナダの金利やカナダ・ドル円は上昇しました。

カナダ銀行は声明文で、利上げの理由として、最近の経済指標で潜在成長率を上回る成長が続くとの自信が強まったと説明しています。また、追加利上げのタイミングについて、カナダ銀行のポロズ総裁は会見で、今後の経済指標次第と強調しています。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年6月16日～2017年7月14日)



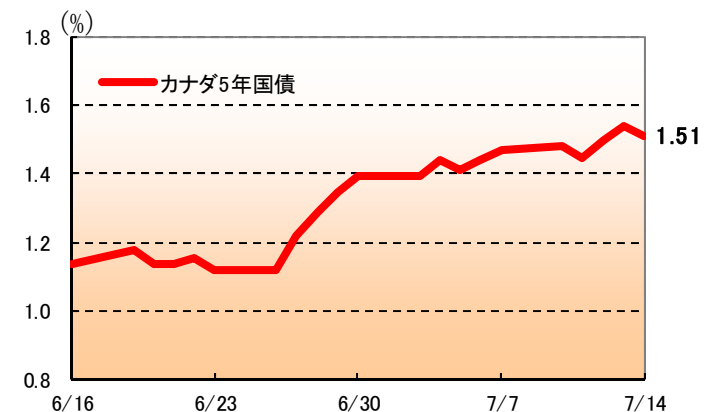
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

カナダについては、経済が堅調に推移していることで追加の利上げが期待されることや、欧州や米国など世界的に金融政策が緩和から正常化へ向かう流れとなっていることなどから、金利は上昇圧力が優勢になるとみています。

今週は、カナダでCPI(消費者物価指数)や小売売上高の発表があります。これらが市場予想を上回る堅調な結果となれば、金利およびカナダ・ドルの上昇に寄与するとみられます。

### 【カナダ 金利推移】 (2017年6月16日～2017年7月14日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>